

## 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	事業名	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業経費内訳	効果検証	備考
1	新宮市生活支援給付金給付事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校、外出自粛、感染予防のための衛生用品購入等、あらゆる面で経済的な影響を受けている市民の生活支援を目的として、生活支援給付金を支給する。 ②令和2年4月27日時点の住民基本台帳登録者	280,841,936	280,841,936	需用費(印刷製本費)89,100円 役務費(通信運搬費、広告料)932,836円 交付金(市民への給付金(1人10,000円×27,982人))279,820,000円	あらゆる面で経済的な影響を受けている市民に対して、国の特別定額給付金に1人1万円を追加で上乗せ給付することで、スピード感を持って生活支援が行えた。(給付率:99.73%)	
2	新宮市経営持続化支援金給付事業	商工観光課	①新型コロナの影響により、前年同月比で売上が30%以上減少した市内事業者に対し、事業継続を支援するために一律5万円の支援金を支給する。 ②市内中小企業・小規模・個人事業者	53,153,397	53,153,397	需用費(消耗品費、印刷製本費)108,820円 役務費(通信運搬費、広告料)544,577円 負担金(一律50,000円×1,050件)52,500,000円	前年同月比で売上30%以上減の市内中小企業・小規模・個人事業者に対し一律5万円の支援金を給付した。 国・県の給付金事業の支給要件に該当しない事業者も含め、新型コロナの影響により売上が減少した市内事業者における事業継続の支援が図られた。	
3	水道事業会計補助金	財政課	①新型コロナウイルス感染症に伴う経済的負担の増大に対する市民への生活支援、また事業収入が減少している法人等への経済支援として令和2年5月分の水道料金を免除する。 ②水道使用者	52,433,334	47,667,000	補助金:47,667,175円 (口径13mm:19,577,990円、口径20mm:15,612,020円、口径25mm:4,577,595円、口径40mm:3,860,230円、口径50mm:1,523,410円、口径75mm:1,601,390円、口径100mm:886,710円、口径150mm:27,830円)	水道事業者は、令和2年5月分の水道料金について減免を行い、補助を行うことにより市民等の経済的な負担軽減が図られた。	
4	簡易水道事業会計補助金	財政課	①新型コロナウイルス感染症に伴う経済的負担の増大に対する市民への生活支援、また事業収入が減少している法人等への経済支援として令和2年5月分の簡易水道料金を免除する。 ②水道使用者	1,520,771	1,382,641	補助金:1,382,641円 (口径13mm:916,235円、口径20mm:137,709円、口径25mm:4,387円、口径30mm:44,335円、口径40mm:50,762円、口径50mm:229,213円)	水道事業者は、令和2年5月分の水道料金について減免を行い、補助を行うことにより市民等の経済的な負担軽減が図られた。	
5	帛省自肅学生応援事業	農林水産課	①新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、帛省を自肅している新宮市出身の学生を対象に地場産米等を仕送り、生活支援を実施する。 ②新宮市出身の帛省を自肅している学生(大学、短大、高専を含む専門学校、高校)	2,298,465	2,298,465	役務費(委託料)(学生数363名×6,000円、広告料120,465円) 2,298,465円	4月30日～5月31日の32日間で363件の申請があった。 帛省を自肅した学生の生活支援及び観光ハガキ等を同封することによって新宮市の良いところを再認識してもらうことができた。	
6	プレミアム付共通商品券発行事業	商工観光課	①新型コロナウイルス感染症に伴う経済活動の大幅な低下に対し、プレミアム付き商品券を販売し、消費喚起による事業者支援及び市民に対する生活支援を実施する。 ②新宮市民及び新宮市内事業者	77,992,736	77,992,736	需用費(消耗品費、印刷製本費)250,023円 役務費(通信運搬費)860,010円 補助金(プレミアム分、手数料、商品券印刷費等)76,882,703円	商工会議所の発行する商品券に過去最高のプレミアム率を付加し販売することで、新型コロナの影響により低迷する市内の消費喚起が図られた。 【発行額】約2億4千万円分	
7	旅館等宿泊避難支援事業	防災対策課	①避難所への避難者の集中を避け、避難所が過密状態になることを防ぐため、市民が避難のために宿泊し、宿泊料金を割引した宿泊施設の営業者に対する補助金を交付とする。 ②新宮市民及び新宮市内の宿泊業者	30,000	30,000	1人2,000円(上限)×15人=30,000円	令和2年度は台風14号の影響を受け15名が避難のために利用した。 1名あたり2,000円×15名 計30,000円の補助金を交付した。	
8	新型コロナウイルス感染症対策経費(防災対策課)	防災対策課	①避難所に空気清浄機及びパーテーションを配備し、避難者間の感染防止を図るとともに、避難所が密にならないよう分散避難のため、クーラーが整備されていない集会所へのクーラー整備を行う。 ②新宮市内の避難所(風水害時に優先して開設する避難所)	6,372,410	6,372,410	【備品購入費 6,372,410円】 空気清浄機65台551,265円 小型テント60台1,053,800円 エアコン9台2,432,265円 パーテーション40組2,335,080円	空気清浄機、パーテーション、小型テントは市内の避難所及び備蓄拠点に配備した。 また、熊野川町内の避難所等6か所(椋井集会所、尾頭集会所、九重集会所、嶋津集会所、西敷屋集会所、鎌塚集会所)にエアコンを設置した。	
9	福祉タクシー券交付事業	福祉課	①運行便数が限定的な公共交通機関への密集を避けるため、また、利用が低下している地元タクシー事業者を支援するため、タクシーを代替手段とし、重度心身障害者(児)のタクシー利用料金の一部を助成する。 ②身体障害者手帳交付者(1,2級)、療育手帳交付者(A)、精神障害者保健福祉手帳交付者(1級)	1,931,710	1,931,710	需用費 20,020円 委託料 1,911,690円	重度心身障害者(児)の社会参加の促進・感染症予防、委託事業者である地元タクシー事業者の利用促進のため実施。タクシー券の利用は全体で4,857件、うち感染症対策としての追加交付分が1512件であり一定の効果はあった。しかし全体としての外出控えにより、見込みよりは利用件数が少なかった。	

## 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	事業名	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業経費内訳	効果検証	備考	
10	新型コロナウイルス感染症対策経費(福祉課)	福祉課	①障害者関連施設、盲人会館等の利用者並びに職員の感染予防や拡大防止を図るため、マスク、衛生用品等を購入するとともに、遠隔での意思疎通支援体制を構築するため、関連機器を購入する。 ②障害者関連施設等	1,713,537	1,713,537	需用費 消耗品費1,343,057円 備品購入費 空気清浄機35,860円×2台、タブレット端末58,740円×4台、プロジェクター1台×63,800円 合計370,480円	感染対策消耗品について各施設の運営継続のため市貯蓄用として購入。施設感染にあたり結果として提供する状況にまでは及んでいないが感染対策の一環として効果を得ている。また施設における空気清浄機、オンライン用タブレットについては感染対策として効果を得ている。		
11	介護サービス事業者等支援補助金	健康長寿課	①新型コロナウイルス感染症の備えとして、介護サービス事業者及び高齢者施設に対し、感染予防や感染拡大防止に必要な費用を支援するため、マスク、衛生用品等の購入に対し補助金を支給する。 ②市内に所在する介護サービス事業所等	6,346,929	3,888,000	補助金 6,346,929円 申請件数37件(68事業所)		感染拡大防止対策として、感染予防に係る消耗品等の購入に対する支援を行った。感染防止効果および事業所の感染防止に係る負担軽減となった。 支援事業所数 68事業所 マスク購入数 94,990枚 消毒液購入数 486個 医療用手袋 329,522枚	
12	子育て世帯等応援商品券配布事業	子育て推進課	①新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校、外出自粛、感染予防のための衛生用品購入等の経済負担増大に対する生活支援策として、「子育て世帯臨時特別給付金」の支給対象外となっている児童がいる世帯に新宮市共通商品券1万円分を配布する。 ②交付対象者(新宮市に住民登録をしている平成14年4月2日～平成16年4月1日生まれの児童がいる世帯)	5,116,310	5,116,310	役務費(通信運搬費)186,310円 扶助費(10,000円×493人)4,930,000円	平成16年4月2日以降生まれの児童(高校1年生までの児童)については、児童手当に上乗せの1万円の給付金の支給事業が国により実施されたが、平成14年4月2日～平成16年4月1日生まれの子に高校2、3年生の児童についてはコロナ対策の支援策が何もなかったため、支援策として有効であった。		
13	新生児臨時特別定額給付金給付事業	保健センター	①新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響が長期化する中、国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた子を養育する世帯主に対し、給付金を支給することにより、子育てに係る経済的負担の軽減を図るとともに、子の健全な育成を推進する。 ②国の特別定額給付金の基準日を過ぎた令和2年4月28日～令和3年4月1日までに生まれた子が属する世帯の世帯主	6,109,702	4,500,000	役務費(通信運搬費)9,702円)9,702円 負担金(1人50,000円×122人)6,100,000円	新生児数:122人 子育てに係る経済的負担の軽減につながった。		
14	小児インフルエンザ予防接種助成事業	保健センター	①インフルエンザウイルスと新型コロナウイルス感染症の同時流行による医療体制の混乱や同時感染による重症化を避けるため、インフルエンザ予防接種費用の助成を行う。 ②生後6か月～高校生	6,600,090	6,175,000	需用費(消耗品費)13,090円、印刷製本費25,960円)39,050円 役務費(通信運搬費)278,840円、広告料(67,100円)345,940円 委託料(3,000円×2,043人=612,900円 生保4,000円×13人=52,000円)6,181,000円 扶助費 13人 34,100円	接種者数延:2,069人 インフルエンザの感染防止、罹患者の重症化の予防につながった。		
15	公立学校情報機器整備費補助金	教育政策課	(公立学校情報機器整備費補助金) ①新型コロナウイルス感染拡大防止、また感染拡大による休校等による教育課程の実施に支障が生じる事態を防ぐため、GIGAスクール構想の更なる加速・強化等による新たな時代に相応しい教育の実現を図る。 ②児童生徒1,918人及び教師150人(合計2,068人)	1,218,000	110,550	③【国庫補助事業】 小中学校教室等周辺機器整備:1,218,000円 (カメラ、マイク等、モバイルルーター)	カメラ等の機器購入により、新型コロナウイルス感染拡大防止、また感染拡大による休校等においても安定した教育課程の実施が可能となる仕組みが構築できた。		
16	小中学校GIGAスクール整備事業	教育政策課	①新型コロナウイルス感染拡大防止、また感染拡大による休校等による教育課程の実施に支障が生じる事態を防ぐため、GIGAスクール構想の更なる加速・強化等による新たな時代に相応しい教育の実現を図る。 ②児童生徒1,918人及び教師150人(合計2,068人)	115,697,664	115,697,664	学校用教材備品購入費:35,495,532円 (タブレット購入費:44,988円×789台) 小中学校教室等周辺機器整備業務:61,037,900円 (プロジェクタ、対応黒板、モニター) 小中学校タブレット端末設定業務:16,570,981円 (AIDリール:287,826円、タブレット端末設定:16,283,155円) 保守点検管理費:2,593,251円	タブレット端末等の教材購入により、新型コロナウイルス感染拡大防止、また感染拡大による休校等においても安定した教育課程の実施が可能となる仕組みが構築できた。		
17	図書消毒機導入事業(図書館)	文化振興課(図書館)	①不特定多数の利用者が閲覧や貸出の際に手に取る図書からの新型コロナウイルス感染防止対策として、図書消毒機を導入する。 ②新宮市立図書館	1,122,000	1,122,000	備品購入費(図書消毒器1台×1,122,000円)1,122,000円	新図書館へ移転後も継続して設置し、R2.9～R4.6までの約16ヶ月で、2,427回使用している。利用者が各自資料を消毒することで、新型コロナウイルス感染リスクを減少し、安心して図書館資料を利用できるようになった。		
18	来庁者等へのコロナウイルス感染対策事業	総務課	①来庁者との接触の多い部署等へ遮蔽板を設置することにより、職員、来庁者等とのコロナウイルスの感染防止対策を行う。また、庁舎内への手指消毒液の設置のほか、机やカウンターの定期的な消毒、また扇風機の設置により換気能力を高め、感染防止対策を行う。 ②地方公共団体	1,193,170	1,193,170	需用費(消耗品費)453,970円 役務費(手数料)739,200円	庁舎内への手指消毒液の設置や、来庁者との接触の多い部署や市議会議場等へ遮蔽板を設置し、職員、来庁者等の感染防止対策を実施した。		

## 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	事業名	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費 (円)	交付金当額 (円)	事業経費内訳	効果検証	備考
19	施設予約システム導入事業	文化振興課	①新型コロナウイルス感染症対策として窓口予約の混雑緩和を促し、3密回避を図るため、Webでの予約が可能となる施設予約システムを導入する。 ②新宮市文化複合施設	2,107,525	2,107,525	役務費(委託料)施設予約システム導入業務 1,760,000円 備品購入費(受付用PC@128,497.5円×2台=256,995円、モニターディスプレイ@33,220円×2台=66,440円、モノクロレーザープリンタ@24,090円×1台=24,090円)347,525円	施設予約システムの導入により、施設利用者がWEB上で施設の空き状況を確認の上、予約手続きを行うことができるため、窓口の混雑緩和による感染リスクの低減が図られた。	
20	チケット販売システム導入事業	文化振興課	①チケット販売時の窓口の混雑緩和、現金による収受の削減により3密回避を図るため、Webでの申し込みが可能となるチケット販売システムを導入する。 ②新宮市文化複合施設	2,067,247	2,067,000	役務費(委託料)チケット販売システム導入業務 1,540,000円 備品購入費(受付用PC@128,497円×1台=128,497円、モニターディスプレイ@33,220円×1台=33,220円、チケットプリンタ@182,765円×2台=365,530円)527,247円	チケット販売システムの導入により、公演チケットをWEBにて購入することができるため、チケット販売時の窓口の混雑緩和、現金収受の削減につながり、感染リスクの低減が図られた。	
21	新型コロナウイルス感染症対策経費(文庫)	文化振興課	①令和3年秋開館予定の新宮市文化複合施設(丹鶴ホール)における新型コロナウイルス感染症防止対策として、体温検知カメラ、消毒液噴霧器、会議用衝立を購入する。 ②新宮市文化複合施設	2,670,250	2,670,250	備品購入費(体温検知カメラ@999,900円×2台=1,999,800円、消毒液噴霧器@14,278円×35台=499,730円、会議用衝立@4,268円×40=170,720円)2,670,250円	施設入口への非接触式体温検知カメラの設置、施設内各所への消毒液噴霧器、会議用衝立の設置により、施設内での感染リスクノ低減が図られ、安心して来館していただける環境が整えられた。	
22	新型コロナウイルス感染症対策経費(図書館)	文化振興課(図書館)	①図書館における新型コロナウイルス感染防止対策を行い、職員と利用者の対面でのやり取りや待ち時間を軽減するため、IC機器を活用したセルフ貸出・返却の導入を行う。 ②新宮市文化複合施設(図書館)	15,839,780	13,195,807	IC機器導入費：機器、ソフトウェア、設定サービス等 感染症予防備品購入費：レシートプリンタ(2台)、飛散防止パネル(60枚)、自動手指消毒器スタンド型(4台)、自動手指消毒器卓上型(6台)、CO2濃度・湿度測定器(4台)、加湿空気清浄機(4台)	自動貸出機、自動返却機の導入により、職員と利用者の接触機会を減らすことができた。有人カウンターではなく自動貸出機の利用を選択する利用者が多くみられるため、自動貸出機を市費にて1台追加導入する予定。 飛散防止パネルの設置や、手指消毒機、CO2濃度測定器、加湿空気清浄機を設置することにより、感染防止対策を行いながら、閲覧席数を減らすことなく、図書館の運営ができています。 また、利用者が目にする場所や、接触が多いと思われる場所に設置し、自由に利用できるため、安心して図書館を利用できる環境が整えられた。	
23	高田グリーンランド空気清浄機設置事業	農林水産課	①不特定多数が利用する温泉宿泊施設(高田グリーンランド)に空気清浄機を設置し、施設利用者の新型コロナウイルス感染リスク低減を図る。 ②高田グリーンランド	365,750	365,750	備品購入費(空気清浄機53畳用143,000円×2台=286,000円、空気清浄機25畳用39,750円×2台=79,750円)365,750円	不特定多数が利用する宿泊温泉施設(高田グリーンランド)に空気清浄機を設置することで、新型コロナウイルス感染リスク低減が図られた。	
24	新型コロナウイルス感染症対策経費(熊野川行政局)	熊野川行政局	①不特定多数が利用する熊野川町内の市有施設に空気清浄機を設置するとともにトイレをウォシュレット式のものに変更し、施設利用者の新型コロナウイルス感染リスク低減を図る。 ②熊野川行政局、熊野川消防出張所、小口自然の家、熊野川温泉さつき、熊野川川舟センター	2,519,550	498,000	備品購入費 2,021,250円 ・空気清浄機53畳用143,000円×8台=1,144,000円 ・空気清浄機25畳用39,750円×22台=877,250円 手数料 498,300円 ・便器取替え498,300円×1器=498,300円	不特定多数が利用する熊野川町内の市有施設に空気清浄機を設置することで、新型コロナウイルス感染リスク低減が図られた。 小口自然の家食堂奥のトイレをウォシュレットトイレに取り替えることで、宿泊者の新型コロナウイルス感染リスク低減が図られた。	
25	新型コロナウイルス感染症対策経費(消防本部)	消防本部	①救急業務での感染リスクを軽減するため、救急資器材を整備し、感染防止対策を強化する。 ②地方公共団体	8,721,900	3,136,142	備品購入費(陰圧式患者搬送用器具(アインレーター1,188,000円(1台)、自動心臓マッサージシステム5,610,000円(@2,805,000円×2式)、救急線ロッカー521,400円(@173,800円×3台)、感染防止衣1,402,500円(50着分))8,721,900円	感染症対策資器材を整備することで、救急活動等における隊員の感染防止体制が強化され、新型コロナウイルス感染症拡大状況下においても適正に消防業務を継続することができた。	
26	来庁者等へのコロナウイルス感染症対策事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症による緊急時に対応するため、別館等にサテライトオフィス機能をもたすための環境整備(空調機器の更新、デスクの購入等)を行う。 また、圧着機を更新し、圧着式郵送の用途を広げることで、多様な手続き方法を可能にすることにより、3密対策として市民の来庁機会の減少を図る。 ②地方公共団体	24,232,588	24,223,000	需用費(消耗品費、修繕料)2,414,160円 役務費(手数料)327,250円 委託料：2,391,400円 備品購入費：19,099,778円	市庁舎への来庁者に対する感染拡大防止措置や郵送案内の機会増加により、密集対策や市民の接触機会軽減につながった。また、別館等にサテライト機能を拡充させたことで、リモートワークによる職員同士の接触機会が抑制された。さらに、ワクチン接種推進室などを設置することで、コロナ対策への環境が整った。	
27	医療センター事業会計補助金	財政課	①新宮市立医療センターが確保している、新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床20床のうち、県の「新型コロナウイルス感染症に係る病床確保事業補助金」の対象とならない12床に対して県補助金単価の1/2を基準とし、180日分を上限に一般会計から補助することにより、適切な医療提供体制を支援する。 ②病院事業会計	56,000,000	56,000,000	26,000円(県補助金単価)×12床×180日=56,000,000円	補助を行うことにより、適切な医療提供体制の確保が図られた。	
合 計				736,216,751	715,450,000			